

地球人間圏科学の大型研究計画 Mega Project Plans of Human Geoscience

氷見山 幸夫^{1*}

Yukio Himiyama^{1*}

¹ 北海道教育大学

¹Hokkaido University of Education

地球人間圏科学は、地球の営みおよびそれと人との関りを研究対象とする、新しい、学際的な学問領域である。この領域の特徴は、それらを自然科学だけでなく、工学、人文・社会科学にまたがる幅広い視点と研究手法で捉える点、地域的・空間的な観点を重視する点などにある。世界には地球環境問題、大規模自然災害、土地資源問題など、地球人間圏科学の取組みが強く求められる喫緊の課題が山積しており、この領域の発展と普及は人類社会の現在と未来にとって大きな意味を持つ。2011年3月11日の大地震に端を発する東日本大震災は、これまで別々に扱われることが多かった地球環境問題と自然災害が密接に関連しており、統合的な取組が必要であることを如実に示した。そこで地球人間圏科学セクションは、地球人間圏科学の立場からこれらの問題の解決に資するため、日本学術会議地球惑星科学委員会地球人間圏分科会と連携し、次の2件の大型研究計画を支援することとなった。

研究計画1: Future Asia - アジアを中心とした Future Earth のための研究・教育・情報ネットワーク (仮称):

ICSU(国際科学会議)、ISSC(国際社会科学協議会)等が地球環境研究の国際的枠組みの再編成のためのプラットフォーム Future Earth への取組の中核を担う研究計画であり、地球環境問題と災害が集中しているにも関わらず人間活動が活発でシステムが複雑なために実態解明と対策が遅れている陸域縁辺海域を主な対象圏域とする。

研究計画2: 海底地震・地殻変動観測網の整備と海陸地震火山観測に基づく地震発生及び火山噴火予測研究の推進 (仮称):

海底での地震・地殻変動観測網を整備して新しい地震火山の予測科学の創出を目指す。そのために、地震及び火山現象の理解の一層の深化、プレート・マンツルの運動の根本的理解、それらに基づく高度なモデルの構築、モデルにデータを同化して活動の推移を予測するシステムの高度化を実施する。

キーワード: Future Earth, 大規模災害, 地球環境問題, 持続可能性, 地震・火山噴火予測, 地球人間圏科学

Keywords: Future Earth, large scale disaster, sustainability, global environmental problem, earth quake & eruption forecast, human geoscience